

オミクロン亜系統 BA.4/BA.5 の特徴

	BA.2	BA.4/BA.5
感染力	○	◎
再感染性	○	◎
免疫をすり抜ける力	○	◎
現行ワクチンでの中和抗体の効果	低い	BA.2 の 1.6 倍～4.3 倍低い
ワクチンによる感染予防効果	低い	さらに低い
ワクチンによる重症予防効果	維持	明らかな差がない

◎BA.2 系統と比較して感染者増加の優位性や免疫逃避が指摘されている。

◎BA.4 系統、BA.5 系統、BA.2.12.1 系統いずれも既存のオミクロン株と比較して重症度の上昇は明らかではない。

◎ワクチン接種者及びオミクロン株感染者について、
BA.4 系統、BA.5 系統に対する抗体価は BA.1 と比較して 2.9 倍から 3.3 倍、
BA.2 と比較して 1.6 倍から 4.3 倍の低下が指摘されている。

◎6 月 24 日時点で、BA.4 系統及び BA.5 系統は国内で検出されており、
国内の一部の地域では BA.5 の検出割合が上昇している。

◎既存のオミクロン株と比較して感染者増加の優位性が指摘されているため、
今後国内で BA.5 の占める割合が上昇する可能性があり、感染者数、重症者数の推移に
注意が必要である。